

KASAI データバンク	人口 / 48,533 (-72)	世帯数 / 16,972 (-2)	
	H22.2.28 現在 (前月比)	男 / 23,640 (-26)	女 / 24,893 (-46)
	2月の出生数 / 15人	死亡数 / 46人	



▲受賞した中村さん(左)と西脇さん。県公館で授賞式(2/13)

「お米甲子園2009」などで、加西市から二名が入賞

「お米」を通じて、ごはん食の素晴らしさを再認識してもらおうと兵庫県などが「お米甲子園2009」を開催。加西市からは西脇真也さん(玉野町)が応募総数346点の中から奨励賞に、また、同じく開催された「平成21年度お弁当・おにぎりコンテスト」で、中村深雪さん(両月町)が応募総数2,265点の中から見事、兵庫県知事賞を受賞しました。ともに初受賞です。

「ハリマ王にんにく」の北本さん。地域特産物マイスターに認定

財団法人特産物協会(東京都)が主催する「平成21年度地域特産物マイスター」に、北本恵一さん(東剣坂町)が認定されました。加西市からは初の認定です。80年以上の歴史を持つ「ハリマ王にんにく」の特産化への取り組みが高く評価されました。地域特産物マイスター制度とは、特産物の栽培・加工等の分野で豊富な技術を持ち、産地育成の指導者となる人材を認定するもので、今年度は全国で22名(兵庫県からは3名)が認定されました。



2/22 認定を受けた北本さん(右) ▶



▲受賞した淵上さん

「市長感謝状」表彰

加西市は2月24日、次の方に「市長感謝状」をお贈りしました。

ふちがみのりゆき

■淵上倫行さん(播磨農業高等学校3年)

3年間、同校の郷土伝統文化継承クラブに在籍し、勉学の傍ら、加西市発祥である播州歌舞伎の継承保存に努力されました。

「住まい・まちづくり担い手事業活動報告会」に加西市が参加

一般社団法人住まい・まちづくり担い手支援機構等が主催する事業活動報告会が2月15日、東京都千代田区の主婦会館で開催され、全国から59のまちづくり団体等224人が参加しました。

加西市からは、中川市長が第1部シンポジウムでパネリストを務め、加西市の環境と景観のまちづくりの経過報告と今後への提案を行いました。また、第2部分科会では、今年度「住まい・まちづくり担い手事業」に採択された、北条まちづくり協議会の松本正光会長が、北条地区の景観まちづくりの取り組みを報告しました。



▲中川市長(中)がパネリスト出演

チャレンジしよう地域貢献。「かさいNPOフェスタ」開催

NPOの普及促進のためアステアかさい3階地域交流センターで2月21日、「かさいNPOフェスタ」を開催しました。

「チャレンジしよう地域貢献」と題し、NPO法人コムサロン21理事の前川裕司さんによる基調講演や、市内外のNPO法人代表理事が参加するパネルディスカッションが行われ、「ネットワーク作りの大切さ」などについて議論を深めました。

また、市内のNPO法人による活動事例発表や活動展示、物品販売なども行われ、参加者は多彩な催しを楽しみました。



▲コムサロン21前川理事長(右) 司会によるパネルディスカッション

西在田小学校で「飛び出し坊や」作成

西在田小学校6年生29人が2月25日、車と歩行者に安全を呼び掛ける看板「飛び出し坊や」29体を作成しました。これは、加西市交通安全協会西在田支部(金澤牧博支部長)が毎年、同校へ作成を依頼して、今回で9回目。同支部のみなさんが、「飛び出し坊や」を形どり、児童が着色しました。

スカートを履いた女の子の人形や今年は新たにシカへの注意喚起を促すための角の生えた人形など、児童は一体ずつ丁寧に仕上げました。



▲児童が作成した「飛び出し坊や」



▲しいたけ菌を植え付ける児童

北条東小学校で「しいたけ栽培」に挑戦

3月4日、北条東小学校3年生65名が授業の一環として、しいたけ菌の植え付け作業に挑戦しました。

これは「子供たちが自然に触れる機会をもっと増やしたい」と、北条東小ワッシュョイスクール(高橋義文代表)が企画し、今年で3回目。ワッシュョイスクールの皆さんが、ならの木の原木に電動ドリルで穴を開け、児童はそこにしいたけ菌の詰まったカプセルを金槌を使って埋め込みました。「大きなのが採れるといいな」と児童は秋からの収穫を楽しみにしています。

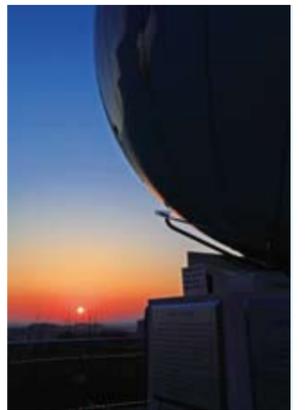
冬の写真コンテスト入賞者決定

加西市観光まちづくり協会主催のフォトコンテストで、加西の冬を題材に作品を募集したところ、74点の応募がありました。審査の結果、会長賞を含む入賞作品7点が決定し、以下の日程で展示会を開催します。普段は見逃してしまいがちな加西市の魅力がいっぱいの作品をお楽しみ下さい。

■展示期間 / 3月23日(火)～4月4日(日)

■場所 / イオン加西北条 SC1階サルビアコート

加西市観光まちづくり協会会長賞
都倉重忠さんの作品
「地球儀時計、冬の夜明け」



地域を盛り上げよう。「北条の宿」の桃の節句

北条町の2地区で、桃の節句にちなみ住民主体の工夫をこらしたまちおこしの取り組みが行われています。両催しのひな飾り等の展示は、北条節句祭りが開催される4月4日(日)まで。

■道行く人達に公開。「北条の宿」思い出のひな飾り

NPO法人まちづくり北条の呼びかけで、北条町のかつての宿場としてにぎわった「北条の宿」界隈の9軒が、縁側や玄関などにひな飾りを展示しています。「家庭に眠っている思い出のひな人形と久しぶりに語ろう」と昨年からの開催。今年の展示は昨年より5箇所増えており、まちなかでの協力の輪が徐々に広がっています。



▲地元北条幼稚園の園児43人が各家庭を見て回った「まち並みひな飾りめぐり」(2/19)

■横尾街道通りで、おひなさまを愛でながら歩こう

同町横尾の街道通りでは、地域住民有志でつくる横尾歴史街道つどいの会の働きかけにより「横尾歴史街道みであるき」を開催中。通りの各家庭が軒下や縁側に、ひな飾りや昔懐かしい写真や古道具など、自慢の蔵出し品を展示しています。

3月7日には、街道沿いにある登録文化財高井家住宅の一般公開や横尾東公園で「まちかどお楽しみイベント」も開催。虫籠窓のある歴史的まち並みが、見物客で賑わいました。



▲街道通りに面した縁側にひな飾りや古道具を展示